

山形の母なる川

最上川

vol.6

平成18年8月5日

[発行]

山形県倫理法人会

山形市やよい二丁目1-47

TEL 023-647-5582

FAX 023-646-7660

表紙題字／中村俊光氏

CONTENTS

会長挨拶	2
朝礼見学を終えて・倫理と出会って...	3
こんにちは専任幹事です	4
各単会の報告	6
上山市倫理法人会設立	8
会員大会・倫理経営講演会	8



社団法人 倫理研究所

山形県倫理法人会



世界中の人々を沸かせたFIFA・W杯、数々の感動の名場面とドラマを残し、最後はジタン選手の問題が波紋を投げかけ、四年後を目指し終了した。日本国民はマスコミが醸す世論から、希望・予測がはずれ、世界の壁、民族性のガツツさの乖離を見せられ、冷や水と冷静さの学びを戴いた。

さあ、盛夏が始まるぞと期待をしていたら、一転、豪雨から更に記録的豪雨となり、大変な災害が発生した。九州、山陰地区、新潟と特に新潟は一昨年の豪雨災害と大変な豪雪と続きました。

無慈悲にも多くの命と生活の場が奪われ、深い悲しみとなりました。梅雨の天候は気まぐれと思っていたが、人の環境へのなせる付けなのか、天候も不安な様変わりをしている。

この第六号が発刊される頃は夏休みが始まり、子供たちの声が地域に還ってきているのであろう。また、望郷の魂を揺さぶる『みちのくの夏祭り』と地域の純粋な素晴らしい『鄙の祭り』が、併せて民族の大移動が始まろうとしている。短い夏の締めくくりをするダイナミックな行事が始まる。

早いもので、二〇〇六年はあと五ヶ月だけとなり、倫理年度は後一ヶ月で新年度二〇〇七年を迎えていく。当に自然は一分一秒の狂いもなく、坦々と時を招き新しい世界が始まる。

倫理法人会『日本創生 さあ！いこう』のスローガンの元、『二〇〇七年度五万社達成』の大活動の現年度が始まり様々な思いを残し決算を迎える。この間それぞれの単会におかれましては、積極的な取り組みを実施されておりことに敬意を申し上げます。

そして特に、山形市蔵王倫理法人会の強固な信念をもって、見事第八番目、上山市倫理法人会の設立をいただきました。鈴木蔵王倫理法人会長、実行委員長の晋藤上山倫理法人会長をはじめとする倫理の多くの仲間へ敬意をもち御礼申し上げます。新たな仲間が増え、日々この山形の県土に倫理が浸透していくことに、当に日本創生、かけがえのない山形県になっていくであろう運動の実践に心より敬服を申し上げます。

そして、中村会長、岡崎拡委員長を始めとする、寒河江市倫理の皆様、全国に名を轟かせられた倫理経営講演会、丸山理事長をはじめ多くの全国の倫友を唸らせた『日本一の倫理経営講演会』誠に輝かしい

企業朝礼見学を終えて



六月二十二日 午前五時四十分、六名(うち一名現地合流)酒田を出発、菊地建設

橋本社長様、菊地部長様のお出迎えを受け早速名刺の交換、七時四十五分本社駐車場に社長様社員様とわれわれ六名、あわせて二十一名が輪になり整列、司会の進行に導かれ要領に従いきびきびと進行しました。基本動作の訓練では、社員様含め男女の区別なく大きなはきはきとした声で大変関心いたしました。私たちも思わず引き込まれ大きな声が出、大変気持ちよくなりました。

また、同じ敷地内の別の建物から基本動作の大きな声が聞こえ、後で分かったのですが別の部署の社員様のグループの声と聞き、全社を挙げての倫理朝礼の浸透を感じました。

朝礼が終わり、社長室に通され、さまざまにお話しするうちに、社長様よりしみじみと、ここまでく



初めての県外企業の朝礼見学にすばらしいものを見学できた、新たなため帰りの車内で皆感慨深くなったことを覚えております。菊地建設の皆様に感謝。

酒田市倫理法人会

朝礼委員会委員長

佐藤 俊一

(尙想建代表取締役)

運営を行われた手腕に敬意を申し上げます。単なる数字合わせでできるものではなく、実際、会場に溢れた期待と学びの姿勢、雰囲気と、素晴らしい倫理実践の活動でありました。その後全国の倫友とお会いするたびに、寒河江市倫理の話題となりました。されど何といっても、初めて倫理に接する多くの市民の方々に、丸山理事長のご講話と倫理の気が伝わっていったものと存じます。

倫理の一員として喜びとするものであります。誠にありがとうございます。この日本一は、前年に山形市倫理の皆様に『モーニングセミナー日本一』も達成されておられ、山形県は二カ年にわたって、日本一を行われました。これについても全国ではそうあることではないものと存じます。山形の大きな力となつて行くものと確信いたします。

そして、初めての会員の集いを行います。初試みであります。これから徐々に検討をし実りあるものにしてまいりたいと存じます。また事務局会も実施をしていただき、少しずつ倫理の輪が広がって参りました。この広報誌についても委員長のお力をお借りして、小松さんには大変お力をいただきました。特に私が一番足を引っ張った次第でした。

そして、個人の会におかれましては、今年度より『家庭倫理の会』として、相馬会長の元、新たな出発が行われました。倫理の両軸としてご

倫理と出会って



「倫理」にふれて、ですかあ？ 鶴岡市倫理法人会が出来て丸

二年。ですが、実は私共が倫理法人会に入会したのは平成の初め。家庭倫理の会に入ったのが平成八年頃。ですから、私にとって「倫理研究所、倫理法人会」は何も目新しいことではなかったのです。

こんな経歴から、もしも「鶴岡市で倫理法人会を作る」となれば「秋山、オマエ、ヤレ」と言われるのは判りきつた話。

私、やりたくなかったんです。無理強いされたのか、ダメサレタかは別にして、一旦受けたからにはヤルツキヤナイ訳でして：今もやっています。

さて、私、三十年前からいろんな勉強らしきことをやってきて、かなりの時間とオカネを使ってしまいました。いいと思うことは多くの人にオススメしてきました。倫理もそのうちの一つ。その他に

一緒に活動をさせていた、たくさん喜びを思う次第です。家庭倫理の皆様にも心より敬意を申し上げます。

そして『日本創生・五万社の目標』、山形は現年度目標は九六〇社、岡崎拡委員長の大号令が聞こえてまいります。寒河江市はきつちり目標を超えた拡大を進められておりますが、県全体としては、もう少々のところでありました。この一年を振り返りながら、大いに反省をするところでありました。されど山形県は確実に堅く拡大がすすめられており、二〇〇七年度において必ずや達成すべく決意をするものであります。

現在、おぞましい事件が発生し、何故日本はこのような国家になったのでしょうか？ワーキングプア等と言う言葉が生まれ、税金が払えない人々が驚くほど増え、二十代からのホームレスが生まれている、アルビン・トフラーさえも日本の行く末に警鐘を鳴らし始めた。

私達は、大切な、重要な使命を担っている。そう日本創生。美しく安心できる日本を作る、貢献する使命を担っている。家庭、会社、地域、里々をベースに日本創生を果たして参りましょう。

その拡大です。数字合わせの拡大ではなく、かけがえのない家庭、会社をはじめとする全ての風土の為。二〇〇七年東北の倫理は山形県から、頑張つて参りましょう。皆様の事業のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。

鶴岡市倫理法人会

会長 秋山 周三

(秋山鉄工(株)代表取締役)

も良いものは沢山あるんです。皆さんも「倫理」だけでなく、他のものを勉強したらいいですよ。でないと「倫理臭く」なってしまうから。

でもね、「簡単、安上がり、長続き」という意味で、リンリは今でも、「一番のオススメ」なのであります。

いろんな団体がオカシクなっていく傾向、特徴を紹介します。

- 1. 金集めの目的で組織拡大を目指し、会員勧誘を強要される。
- 2. 幹部、トップが贅沢になる。トップが権力を持ち始める。
- 3. 立派すぎる建物、施設を造る。
- 3. 「政治」業界に進出する。

リンリは大丈夫！安心して普及拡大にいそしみましょう。私が言う「アブナイ」と感じる人はスルドイのかもしれない。

こんにちは 専任幹事です



山形県倫理法人会
幹事長
柴田津與志

県幹事長を拝命して二年目。一年目は無我夢中。今年はやつと各単会の普及拡大目標数字を把握出来る程度になりましたが、今年度もあと二ヶ月のみ、近会長の手足になれたかどうか、又、各単会活動にお手伝い出来たかどうか、振り返ると気が重くなる。

どうしたらいいのか考える暇もなく、六月十六日〜十八日白河市にて、平成十九年度法人局「活動方針説明会」に出席。来年度も近会長の元、柴田―奥山体制でフル活動する事を決意してきました。

来年度は躍動の年、大飛躍のスタートの年。全国的には五万社達成の年となり、山形県は一〇〇〇社達成宣言の年となります。又、宮城県のご指導により山形県に倫理法人会が出来て十五年になります。第二回の会員大会と併せて山形市を主管に企画を進めます。盛沢山の内容実施の中、未普及地域の開発と各単会活動内容の充実を根底に据えて、一年間マラソンランナーの気持ちで、―楽しく、連携をとりながら―



山形市倫理法人会
専任幹事
佐々木吉嗣

役員を引き受けてくれませんかとか会長から電話があり、解りましたと二つ返事で了解した所、後日、専任幹事しか枠が残っていないので、専任幹事をお願いしますと、何か腑に落ちないまま、現在に至っております。

専任幹事という役割に就いてのこの一年間と、倫理会員になった期間と同じくらいの学びをさせていただいたと感じております。各会合の準備。各委員会の段取り全てに参加させて頂き、倫理の楽しさを実感しております。

次期も専任幹事を引き続きやる事になりました。次期は、会長の目標である各委員会の活性化、各委員会が全て機能するように、名前だけの委員会にならないよう、心掛けていきたいと思っております。そして一年が過ぎた時、参加した全ての会友が、倫理を楽しめた一年であったと実感出来た年度になれば、凄い事だと考えております。口幅つたい事を書きましたが、今後とも倫友の皆様のご協力のほどお願い申し上げます。



米沢市倫理法人会
専任幹事
相田 晃輔

米沢市倫理法人会、専任幹事三年目の相田晃輔です。縁あって、米沢市倫理法人会設立当初からの会員です。弊

頂けたらと思います。寒河江市は、「花と緑・せせらぎのまち」というキャッチフレーズを掲げておりますが、もつと多くの企業に倫理の輪がひろがり、「花と緑・せせらぎそして倫理のまち」というフレーズが奏でられればと願っています。



山形市蔵王倫理法人会
専任幹事
前盛 直人

こんにちは！山形市蔵王倫理法人会の専任幹事を務めさせていただいております。平素は各単会の皆様より大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

さて、山形市蔵王倫理法人会は、若さ・元氣・情熱・熱気・感動をもつ一つの原動力とし、鈴木隆一会長のもと役員一丸となり、蔵王ならではの会運営に日々努力しております。

お蔭さまで、モーニングセミナー動員数も平均三十二社四十六名（〇六年四月度）を記録し、先に行われた平成十八年度倫理経営講演会も目標数値を上回る二一名の会員・非会員の皆様にお越しいただき大成功の中で終えることができました。全ての方々に感謝です。

家族参加型の倫理法人会行事の企画・運営、会員の増強、会内部の活性化等を柱としてこの一年間活動してまいりました。其々充実した実りある活動ができたのも、全ては蔵王役員の皆様や各単会役員の皆様の多大なるご協力と

ご支援があったからこそだと確信しております。蔵王の勢いを今後更にパワーアップさせ、熱き思いをこの山形の地から発信し続けたいと思っております。



酒田市倫理法人会
専任幹事
池田 登

酒田市倫理法人会も設立されてから早くも二年になろうとしています。酒田市の人口形態及び法人企業の数字から見ると、まだまだ会員企業を増やさなければなりません。当市は倫理運動の発祥地といっても過言ではないでしょう。先人では本間光丘翁、今日では

公益学の学びの礎となる東北公益文科大学など全国で初めての公益学即ち倫理学の教鞭を教える大学から第一、二期生を送り出しています。今こそ私たちと共に恵まれた土壌で倫理の勉強に参加いただければ素晴らしい講師の先生の生の実践の講演などを聴くことが出来ます。これからの人生が楽しくなると思っております。私たちと共に全国の倫理法人会の一員となつて一緒に頑張りましょう。最後に倫友の皆さんと目標の法人会会員一〇社を目指して頑張ります。



鶴岡市倫理法人会
専任幹事
三浦 忍

鶴岡市倫理法人会の専任幹事を務め

社は、米沢市を拠点に置賜地域とその周辺を活動範囲とした、建築を主とした建設業者ですので、この地域で住宅や建築等のご相談などは非お声掛け下さい。

さて、単会の中での専任幹事の役割は、会長の女房役という位置づけと承っておりますが、私ごと、本業はもちろん、他の各種団体活動、関わりが無数にあつて、倫理法人会活動もなかなか思うに任せないというのが実感です。そこで最近思うのは、まずは純粋倫理の勉強や普及、型通りの運営といった基本をしつかり行つた上で、余力があれば様々な事業を企画・実践する方が良いでしょう。良いのではないかと考えています。しかし、身に余る専任幹事というお役も自分の肥やしと思ひ、役員の皆様方を始め会員企業様及び関係各位のご協力を賜りながら前進して行きたいと思っておりますので、宜しくお願ひ申し上げます。



天童市倫理法人会
副専任幹事
沼田 健

こんにちは、副専任幹事です。天童市倫理法人会の専任幹事「国井信幸」さんが今年の春急逝いたしました。そのため任期中は、副専任幹事の私が代行をさせていただいております。会員数およびMS等の参加者も少ないため、各委員は何でもこなさなければなりません。様々な行事役割につきましても、融通はもとより、「ハイ！」

させていたいております三浦忍です。鶴岡市大山（四月にブナ文化フォーラムがあつた近く）で建設業を営んでおります（株）三浦土建の専務取締役です。「鶴岡設立」から二年ですが、更に数年前から当社は「山形市」の会員でした。私自身も三年前、富士研の「後継者セミナー」に参加しました。素晴らしい研修でした。そんなところ、「鶴岡市にも作る」という話を持ち上がり、微力ながら協力しているうちに専任幹事という大役を仰せつかりました。日々の活動は、会長に任せきりで専任幹事の役割を果たすところまでいっておりますが、モーニングセミナー、役員会、幹部研修会へは積極的に参加し、いつかはお役に立てるようになりたいと思っております。ちよつと個性的な秋山会長のもとがんばっておりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。



上山市倫理法人会
専任幹事
齋藤 仁市

はじめまして、なりたてはややぼやの選任幹事です。上山市は人口三万六千人の町です。企業数は約八百四十社とここで、ほとんどが中小企業です。ここに百社というノルマを貸せて、昨年十一月から倫理法人会の立ち上げを目指しました。具体的には、今年に入ってから企業リストを作成して、晋道会長といっしょに会社訪問を始めました。訪問当初の三十社まではなんとか

と言う二つ返事ですすべての事が始まりません。現在、MSは本会場ではなく、仮の会場で、朝の食事もファミリーストランで行っております。半年もなりますと、会長・副会長はゲストの接待、事務長はコーヒーと注文の取りまとめ、研修委員長、MS委員長・副委員長は場の雰囲気をつォローしながらの気配り、専任幹事はというと偉そうに食べているだけ。なんとも横着な副専任幹事です。



寒河江市倫理法人会
副専任幹事
海野 晋

寒河江市倫理法人会は、七月三十一日を持ちまして三周年を迎えることとなりました。この三年間、中村俊光会長を中心に、役員はもとより会員や社員、またその家族の方々も巻き込んで、寒河江・西村山地域に倫理の風を巻き起こしました。

現在、四年目を迎える寒河江はこのパワーを維持しつつ、さらなる拡大を図っているところでありますが、そのためには、まず組織の土台固めが優先事項であると考えております。

具体的行動目標には、「モーニングセミナーの活性化」や「会員の増強」、「委員会活動の充実」、「次世代リーダーの育成」などが挙げられております。それらを実践していった結果、会員が「倫理法人会に入会して良かった」、「生活や経営の糧となった」と感じて

スムーズにいきましたが、それからが大変でした。何度も同じ企業に訪問を重ねていきましたが、そのたびに不明瞭な答えが返ってくるばかり。ほとほと困り果てていましたが、やはり地元企業様からのお誘いが一番ということ、お声がけをお願いし、また、山形県、山形市、山形市蔵王の役員の方々にも最大限に後押ししていただくことで、なんと二十六日午後からの設立式典に漕ぎ着けました。ほんとうに多くの皆様にご協力をいただいたんだなと今更ながらに思います。ほんとうにありがとうございます。もう、あれから一ヶ月がたつてしまいました。驚くほどモーニングセミナーの参加者が多く、順調にことが進んでおります。役員会では私自身がしどろもどろで進行を担っております。大変もどらない専任幹事を（今のところ）やさしい役員の皆様に見守っていただいております。十九年度の役員も決まりつつあります。ほとんどの会員様が倫理法人会参加ははじめての方ばかり。なにをするにもはじめてです。モーニングセミナーの回数を重ねることにより、倫理への理解が深まってくるような、講師陣粘り強いのがんばりと、わかりやすいご講和のおかげだと思ひます。上山は温泉の町。くだものに代表される自然の恵み豊かな町。そして地域に貢献する多くの企業に見守られて、明朗、愛和、喜働の元氣な町となつて発展していきますよう、倫理の普及に励みます。

酒田市 倫理法人会



こんにちは。酒田市倫理法人会は、現在一〇五社会員企業があり、会員一〇社を目標に活動しております。

毎週水曜日の朝六時より、ホテルリッチ&ガーデン酒田にてモーニングセミナーを行っております。毎回四十〜五十名の参加者にて「早起きは繁栄の第一歩」をモットーに、倫理法人会本部の先生方と地元オピニオンリーダーの方を講師に招き、爽やかな朝の時間を活発で有意義に過ごしております。酒田にお越しの折には是非お立ち寄り下さい。

山形市蔵王 倫理法人会



四月は、十九日に二十社二十四名参加のもと「家族観桜会」を開催し、会員そしてそのご家族を含め相互の交流を深めました。また翌二十日には朝礼研修（八社三十名の参加）を行っております。

五月においては、上山市倫理法人会設立に向け、上山市での移動MSの開催や役員が一丸となり新規会員の獲得や紹介に邁進してまいりました。

六月は、十三日に当法人会設立以来、初めての単独開催での倫理経営講演会が開催されました。会員・非会員二二〇名が参加し、熱気と感動溢れる中、大成功の内に終えることができました。

米沢市 倫理法人会



去る五月十九日、米沢市倫理経営講演会を開催いたしました。

テーマは「負けてたまるか」講師に東海・北陸方面方面長伏木久登氏をお招きし、事業体験発表では「倫理によって家庭・会社が変わる」と題して、群馬県倫理法人会会長田島眞治氏にご講演をいただきました。山形県会員大会の翌日となり連日ではありましたが、他単会からのご出席もいただき誠にありがとうございました。

参加者は一二四名、会員外からも十三社ご参加いただきましたので、今後の普及活動、および単会活動充実へ向けての手応えを感じております。

山形市 倫理法人会



去る五月十八日、山形県倫理法人会念願の第一回会員大会を、我が山形市倫理法人会の主催で執り行なうことができました。この日は、寒河江市倫理法人会倫理経営講演会も同時に開催され、講師に丸山敏秋理事長を迎えた、山形県倫理法人会の一大会となりしました。

会員大会では、我が会の会長中村恒一の挨拶、山形県倫理法人会の近清剛会長の挨拶に続き、秋田化学工業㈱の千葉弘治氏が記念すべき第一回会員表彰を受けられました。

続いて、県会長の近清剛氏を座長に、事務長の奥山正明氏による十七年度決算報告と十八年度の予算が提出され、幹事長の柴田津與志氏より十八年度の活動計画と実績が報告され、全会員の拍手により、承認がなされました。

また、普及拡大委員会の岡崎大造氏による、普及拡大状況の発表に続き、一〇〇〇社達成に向けて全会員一丸となって取り組むことを確認しあい、第一回会員大会は決意と希望のうちに幕を閉じました。

倫理法人会憲章

倫理法人会は、実行によって直ちに正しさが証明できる純粋倫理を基底に、経営者の自己革新をはかり、心の経営をめざす人々のネットワークを拡げ、共尊共生の精神に則った健全な繁栄を実現し、地域社会の発展と美しい世界づくりに貢献することを目的とした団体である。これがため以下「活動指針」と「会員心得」を掲げる。

【倫理法人会活動指針】

1. 倫理の学習と実践の場を提供し、よりよい生活習慣とゆたかな人間性をそなえたリーダーを養成する。
2. 深く家族を愛し、篤く祖先を敬い、なごやかでゆるぎない家庭を築く人を育てる。
3. 「明朗」「愛和」「喜働」の実践により、躍動する職場づくりを推進する。
4. 愛と敬と感謝の経営をめざす会員の輪を拡げ、各種の活動をとおして地域社会の発展に寄与する。
5. 自然を畏敬・親愛し、「地球人」たる自覚を深め、環境の保全と美化に貢献する。

【倫理法人会会員心得】

1. 朗らかに働き、喜びの人生を創造します。
2. 約束を守り、信頼の輪をひろげます。
3. 人を愛して争わず、互いの繁栄をねがいます。

鶴岡市 倫理法人会



「皆さん、おはようございます」の挨拶と今日はどんなお話を聴けるのか。期待と緊張感、この一時がたまりません。様々の分野でご活躍の皆様のお話をお聴きしていただきます。

六月十八日には家庭倫理の会主催の「全国一斉清掃デー」に法人会員も参加。朝五時五十分荘内神社前に集合、その周辺の草刈、笹刈を行いました。

早朝からの汗だく作業、とても気持ちの良いものでした。

今後の予定では、八月の幹部研修会で三浦方面長にお出で頂き、翌日設立二周年記念早朝清掃を計画しているところです。

寒河江市 倫理法人会



去る五月十八日(木)、丸山敏秋理事長を迎えての「寒河江市倫理経営講演会」は寒河江市市民文化会館に二九八名の参加をいただき、また同日開催の「県倫理法人会第一回会員大会」も大勢の会友の参加を得て、両会相俟って盛会のうちに終了しました。

終了後の懇親会も、シンフォニーにて佐藤誠六市長、丸山理事長を交え大いに盛り上がり、楽しい夕べとなりました。

会員企業から選出された十一名の社員による、若さ溢れる活力朝礼、そして丸山理事長による「負けてたまるか」をテーマに時宜になつた講演は、会員はもとより、会員以外の地域の企業、並びに一般市民とも一体となつた「大いなる講演会」とふくれ上がりしました。「倫理の風を寒河江から」をモットーに会員が心一つにして取り組んだ事は誠に意義深い事でありました。

ご参加の会員各位に感謝！

天童市 倫理法人会



毎日毎日、よくもこれだけ倫理に反する事件の多いことか。うんざりすると同時に何故だろうと自分に問いかけてみる。社会や学校のせいにしてみるが違うような気がする。

戦後、核家族化、少子化が進み、お年寄りの知恵や意見を聞く機会も薄れ、親は生活に日々追われ、わが子に對し幼児期からの人間としての躾、道徳、倫理等、大事な人格形成を他人任せにしてはいなくなつたのでしょうか。以前は家庭において大人が教育をし、また、家の品格も保つ努力をしていた。

天童市倫理法人会も今が一番大事な時期だと思えます。皆さんの指導の下、小さいながらも品格のある法人会に成長していきたいと思えます。

また、六月二十二日、天童市の妙法寺（副会長矢吹海慶氏宅）においてイブニングセミナーを開催し、寒河江市倫理法人会主催で丸山理事長をお迎えして倫理経営講演会が開かれ、二〇〇名を超える参加者を達成して日本一の快挙を讀んで、関係者の慰労と、近県会長を初め各単会の役員と共に素晴らしい貴重な骨董品を眺めながらの祝宴は大変な盛り上がりで、天童市倫理法人会の会員の増強と活発なMSの開催を誓い合う事が出来ました。

県内8番目の倫理法人会 上山市に誕生

山市倫理法人会設立
100社達成の軌跡



のスタンスが動いていきました。予期もしない上山市倫理法人会設立というがリアルブルされ、ビジネスアルなイメージが私の頭に広がりました。何とか設立を実現させたいという熱い思いが込み上げてくるようになりました。

それは何故かという、自社（進和ラベル印刷）の所在地は上山。やはり、会社のある所在地に倫理法人会ができることを考えたら、本当に素晴らしいだろうなあと思いがぞくぞくして参りまして、いつの間にか中村会長に「上山市倫理法人会が私がりません。」と意外な言葉がでました。

振り返れば、昨年の五月頃だったと思いますが、山形市倫理法人会中村会長より、山形市の南の方に、もう一つの倫理法人会を設立したいのか」と、肩を叩かれたのが、事の始まりでした。

当時、私は蔵王倫理法人会の会長を仰せつかったので、中村会長の命には、ノーと言えない立場ではありませんでした。（なぜなら、蔵王倫理法人会は山形市倫理法人会の分封設立ですから、親子関係にあります。倫理でも学んでおりますよ）、「親を大切にせぬような子は、何一つ満足はできない」と説いておられます。『万人幸福の葉十三条』、本を忘

れず、未を乱さず。それにも増して、私は中村会長の物の見方、考え方など感心力と人格力を日頃から尊敬している一人でございます。ですから、もちろん設立には協力していくことを同意致しました。

ところがMS会場を探して見ましたが、朝六時三十分から、そして朝食を用意できるところはなく、「これは困ったなあ」ということになりました。そして、中村会長と現況の打合わせの中から、山形市と上山市の合併も当分なくなつたので、山形市南倫理法人会ではなく、上山市に倫理法人会を設立したらどうかという大胆な話が飛び出し、思わぬ方向へ設立

して、その熱い胸の内を当時の蔵王倫理法人会鈴木副会長に伝え、蔵王倫理法人会会長を引き受けてもらえるよう嘆願したところ、「そう」と、その場で快諾をいただきまして、お願いした自分が信じられない出来事でした。

続いて、専任幹事職を簡サンファームの斎藤社長に恐る恐るお願いいたしました。「そういうことであればやります」と、いう返事が返ってきました。「本当にありがたいなあ」と、感謝の気持ちでいっぱい、何としても設立をしなければという心に揺ぎ無い決意が生まれた瞬間でもありました。

MS会場は、以前から存じ上げていた月岡ホテルの堺社長にお願いしました。早朝の例会にも関わらず、「何とか対応しましょう。」ということになりました。

この時点で、上山市倫理法人会の会長、専任幹事、MS会場が決まりました。設立にとって最も大事な決定事項が早々と決まったことが、成功の大きな要因になったことは間違いないあります。

事は、いろんなことがありすぎて、お聞きしたい方がおられれば、MS講話でもお話しさせていただきますと思います。

それでは最後に、この度の設立にあたり、体験から得たその時々的心态を下記に表現してみました。

- 大きい事に挑戦する時ほど、追い込まれて苦しい時ほど：いつも思う。結局は自分との闘いだ、と。
- 出会い、人脈、中心人物（普及拡大で必ず出てくる言葉）
- 努力の種まかねば、夢の花は咲かない（三月末の心境）
- 挑めばチャンス、逃げればピンチ（四月末の心境）
- 責め心のない厳しき、馴れ合いでない優しさ（五月初旬・中旬の心境）

普及拡大は『万人幸福の葉』の十七ヶ条を体験するためにあるのかなあ、と思つたくらいでした。特に一・四条までは、疑いようがありません。

最後に、私の尊敬する、滝口長太郎氏の「打つ手は無敵だ」を紹介し、終わらせていただきます。

打つ手は無敵
すばらしい名画よりも
とてもすてきな宝石よりも
もっとも大切なものを
私は持つていた

どんな時でも
愚痴を言わない
参つたと泣きごとを言わない
何か方法は無いだろうか
何か方法は無いだろうか
周囲を見回してみよう
いろんな角度から眺めてみよう
人の知恵も借りてみよう
必ず何とかなるものである
なぜなら
打つ手は常に無敵であるからだ

滝口長太郎

山形県倫理法人会第一回会員大会開催する



去る五月十八日(木)、五月晴れの空に常磐木の濃緑は美しく映える寒河江の地に於いて十五年を経た今、全県下七法人会六〇社の会員が一堂に会する機会がありました。

日頃、私たちは純粋倫理の学びを通して「自己革新」を図り、「倫理経営」に励み、共に働く人達の幸せ実現と地域社会の活性化を目指してまいりました。

この度の集いは、この目的達成に向け、全会員が、情報を共有し意識の高揚を図る場となる歴史に残る一步を踏み出したことに大きな喜びを感じております。

開催に当って、会場提供にご尽力頂いた寒河江市並びに主管下さった山形市の各倫理法人会関係者の皆様に深甚なる敬意を表し御礼と致します。

さくらんぼの里寒河江市倫理経営講演会 驚異の動員をやつてのける!!

五月十八日(木)、寒河江市倫理法人会が、丸山理事長をお迎えして開催した倫理経営講演会に、会員券をふところにしたお客様が、これでもか、これでもかとつめかけた。

とうとう一二九八名となつてしまひ、市民会館の大ホールは感動のつぼみとなつた。

主催者の真心が白熱となり弾け、倫理経営講演会として初めて、一〇〇〇名を超える金字塔を打ち立てた。

当日の様子は十九日、地元テレビの昼番組で放映された。

